税務関係団体長：税の入賞作品

熊本西・東地区税務関係団体長連絡協議会で税の作品を募集しました。
各部門とも税をよく理解した力作揃いでした！ 入賞作品の中から熊本法人会長賞を紹介いたします。（作品展示は、税を考える週間に合わせて上通商店街等で行いました）

【熊本西地区】

公益社団法人熊本法人会長賞

暮らしの中に活きる税

武蔵中 二年 工藤 碧

熊本市立武蔵中学校2年 工藤 碧

公益社団法人熊本法人会長賞

税金は 国を良くする 未来のかぎ

熊本大学教育学部附属小学校6年 坂元 こころ

公益社団法人熊本法人会長賞

熊本市立飽田西小学校6年 松窪 大和

公益社団法人熊本法人会長賞

ゴミ捨てから考える「税」

熊本市立白川中学校 二年 菅野 太一

僕は、夏休みなどにゴミ捨てのお手伝いをすることがあります。早く起きたときは母がゴミを捨てにいくより効率が良いし、ゴミを捨てにいくときに階段を使うのでとても運動になり、お手伝いとはいえ、ゴミ捨てをすることが結構好きでした。とはいえ、時間を守らない点は大変です。ですが、それ以前にゴミを回収している業者の方が毎日のことなのに凄いと感じていました。

ある時、そんなゴミの回収にもお金がかかるのではないか？と思い、「ゴミ収集にかかる費用ってどこから出てるの？」と母親に尋ねました。すると、「ゴミ収集とかは行政がやっているから…税金が使われてるね。」と答えられました。とても驚きました。僕は税といえばで思い浮かぶのは消費税くらいで、それ以外にも税金が使われているなんて知らなかったからです。またそれを知ったと同時に、廃棄処分にかかる費用やその他の費用にはかなりの金額がかかっているのではないかと疑問に思いました。

そこでネットで調べてみると日本全体だと、年間二兆四千億円以上、一人当たりで一万九千七百円が使われているそうです。もし、税金が無かったら、

自分の家は三人家族なので六万円程度支払わなくてはなりません。それ以前に、街がゴミで溢れかえって綺麗なこの街の景観はあっという間に崩れてしまいます。でも、税金があるのでこの綺麗な景観は守られています。また、警察が働いていることも、教科書が無償で配られていることも、救急車や消防車が機能していることも全て税金のおかげです。今回、税金のありがたみにゴミ捨てという些細なことから気付かされました。

僕は税金を納める、支払うということは、決して負担ではないと考えます。税金は自分の街の設備のため、社会のため、年金などの社会保障などに使われている。巡り巡って自分に返ってくるものです。税金は欠かすことのできない重要な制度だと言えるはずです。しかし、僕はまだ子供なのでどちらかといえば大人が納めてくれた税金の恩恵を受けている側にあると思います。これから成長して大人になると、もっと多くの場面で税金を納めることになるし、給与からも天引きされる部分があるはずです。税金を納めることは国のために、社会のために、未来の子供たちのためになっているので納税することを誇りに思えるような大人になりたいです。

【熊本東地区】

公益社団法人熊本法人会会長賞

今の税　いずれ未来の　希望だゼイ（税）

嘉島町立嘉島中学校2年　仲野　心結

公益社団法人熊本法人会会長賞

税の役割

二岡中二年　愛甲　美涼

熊本市立二岡中学校２年
愛甲　美涼

公益社団法人熊本法人会会長賞

熊本マリスト学園中学校2年
緒方　淳正

公益社団法人熊本法人会会長賞

税が支える予防注射

熊本市立西原中学校
二年　田代　華子

私は注射が苦手です。このところ予防注射ばかり打っています。先日も子宮頸がん予防ワクチンを打ったばかりで、涙が出るほど痛かったです。母子手帳をみると、生まれてから今まで、定期接種と任意接種を合わせて、四十三本もの注射を打っていました。母に聞くと、双子の私は、予定より早く、小さく生まれたので、病気にならないようにとの思いから予防接種のカレンダー通りに打ってきたそうです。

私たちの生活にはいたるところに税が使われていますが、予防注射をはじめ、私たちが安心して生活していくために必要な「医療」も税金で支えられています。

私も次は四回目の接種となる、新型コロナウイルス予防のワクチンもその一つで、これまでにも日本中の人たちを救うため、多額の税が使われています。いろいろな意見があると思いますが、私は、無料で受けられていることは、ありがたいと思います。

今年一月、新型コロナウイルスの「オミクロン株」による感染が急速に広まったカナダ東部のケベック州では、ワクチンを打っていない、未接種者に課税する方針を打ち出したというニュースがありました。未接種者の入院が増えていることで、ケベック州のレガルト首相は、「ワクチンを拒否する成人に健康税を求める」として、医療上の理由がない未接種者から最大、日本円にして約九千二百円を徴収するとしましたが、州民の不満が多かったため、導入をやめたとのことです。

一方で、ギリシャでは、新型コロナウイルス感染症のワクチンを接種していない六十歳以上の人は月額約百十五ドル（日本円にして約一万三千円）の罰金を科される制度が導入されました。

命を救おうとワクチン接種に税の負担をかけても、国によって、また人によって、そのやり方に賛成や反対の意見があり、なかなかその使い道がうまくいっているのかわからないことも多いようです。

でも、まだまだよくわからない新しい病気に、将来を生きる私たち子どもの命が税金で守られていることは確かです。これまでの病気のワクチンと同じように長い時間をかけてよかったかどうかもわかるのだと思います。

予防接種一つに目を向けても、様々な税の使われ方があるのですが、命にはかえられない大事なことです。

これから先、何回予防接種をするのかはわかりませんが、たくさんの人たちから支えられている税の使い道であることを忘れないでいようと思います。そう思うと、痛いのもがまんできそうです。私もいずれ社会に出て、納税者の一人として、責任を果たしていきたいです。